

非常災害時等の対応について

暴風警報、特別警報等が発令された場合につきましては、以下のような措置を取らせていただきますので、ご協力よろしくお願いたします。

1 「暴風警報」「暴風雪警報」が発令された場合

(1) 登校前

- ① 午前6時の段階で警報が発令されている場合は、午前中の授業を中止とします。
- ② 午前11時の段階でも警報が発令されている場合は、午後の授業も中止とします。
- ③ 午前6時から午前11時の間に警報が解除された場合は、午後の授業を行います。その場合、普段の分団集合時刻から5時間後を臨時的集合時刻とし、午後1時00分～1時15分までに学校に到着するように分団で登校してください。詳しくは「スクリレ」でお知らせします。

(2) 在校中

- 授業を中止し、下校します。「スクリレ」でお知らせしますので、保護者または代理人による引き取りをお願いします。

2 「大雨警報」「洪水警報」「高潮警報」「大雪警報」が発令された場合

原則、授業を行います。通常どおり登校させてください。

3 「特別警報」、上志段味小学区に「避難指示」が発令された場合

(1) 登校前

- 1 「暴風警報」「暴風雪警報」が発令された場合に準じます。

(2) 在校中

- 1 「暴風警報」「暴風雪警報」が発令された場合に準じます。

4 震度5強以上の地震が発生した場合

(1) 登校前

- 自宅で待機してください。その後の指示は「スクリレ」でお知らせします。

(2) 在校中

- 1 「暴風警報」「暴風雪警報」が発令された場合に準じます。

5 「南海トラフ地震に関する情報」が発表された場合

(1) 登校前

- 特に学校から連絡がない限り、通常どおり登校してください。

(2) 在校中

- 「南海トラフ地震に関する情報」が発表されたことを「スクリレ」でお知らせします。状況により授業を中止する場合は、「スクリレ」でお知らせしますので、保護者または代理人による引き取りをお願いします。

Jアラートを通じて緊急情報が出された場合の対応について

令和5年9月更新

1 愛知県に、「①ミサイル発射情報・避難の呼びかけ」が出された場合

登校前	自宅で安全確保 続報によって安全が確認できたら、登校
登校中	近くの建物等で安全確保 続報によって安全が確認できたら、そのまま登校
在校中	学校で安全確保
下校中	近くの建物等で安全確保 続報によって安全が確認できたら、そのまま下校

2 「①ミサイル発射情報・避難の呼びかけ」に引き続き、「⑤直ちに避難することの呼びかけ」「⑥破壊情報」「⑦落下推定情報（日本の領土・領海に落下）」が出された場合

引き続き屋内に避難する必要があるため、自宅待機中の場合は、登校を見合わせ、安全が確認されるまで、休業とします。

学校に児童がいる場合は、安全が確認されるまで、学校で待機させます。

登下校中の場合は、安全確保に努めるようお話してください。

いずれの場合も、Jアラートによる続報に注意することが大切です。

3 「①ミサイル発射情報・避難の呼びかけ」に引き続き、「②通過情報・避難の呼びかけの解除」「③落下推定情報（日本の領海外の海域に落下）」「④避難の呼びかけの解除」「⑧避難呼びかけの解除」が出された場合

屋内に避難する必要がなくなるため、自宅待機中の場合は、学区内の安全を確認し、スクリレ等で、登校する時刻等についてお知らせします。

学校に児童がいる場合は、通常授業となります。



弾道ミサイル落下時の 行動について

弾道ミサイルは、発射からわずか10分もしないうちに到達する可能性もあります。ミサイルが日本に落下する可能性がある場合は、国からの緊急情報を瞬時に伝える「Jアラート」を活用して、防災行政無線で特別なサイレン音とともにメッセージを流すほか、緊急速報メール等により緊急情報をお知らせします。

① 速やかな避難行動

② 正確かつ迅速な情報収集

行政からの指示に従って、落ち着いて行動してください。



国民保護ポータルサイト
武力攻撃やテロなどから身を守るために



事前に確認しておきましょう。
http://www.kokuminhogo.go.jp/gaiyou/shiryuu/hogo_manual.html

—— ミサイル落下時には、こちらから政府の対応状況をご覧になれます ——



首相官邸
ホームページ
www.kantei.go.jp/



Twitterアカウント
首相官邸災害・危機管理情報
@Kantei_Saigai



Jアラート (例) 直ちに避難。直ちに避難。直ちに建物の中、又は地下に避難してください。ミサイルが、●時●分頃、●●県周辺に落下するものとみられます。直ちに避難してください。

メッセージが流れたら

落ち着いて、直ちに行動してください。

屋外に
いる場合

近くの建物の中か
地下に避難。

(注) できれば頑丈な建物が望ましいものの、近くになれば、それ以外の建物でも構いません。

建物が
ない場合

物陰に身を隠すか、
地面に伏せて頭部を守る。

屋内に
いる場合

窓から離れるか、
窓のない部屋に移動する。

近くに
ミサイル
落下!

●屋外にいる場合：口と鼻をハンカチで覆い、現場から直ちに離れ、密閉性の高い屋内または風上へ避難する。

●屋内にいる場合：換気扇を止め、窓を閉め、目張りをして室内を密閉する。